

# 犬レプトスピラ感染症(人畜共通伝染病) の発生がありました

従来、札幌にはレプトスピラが常在しないとされておりましたが、札幌市内において発生が確認されました。

当院にて、レプトスピラ感染症を診断された動物がおります。  
この事は、手稲区、小樽において存在することを示唆しています。  
早急に8種混合ワクチン接種を行うことをお勧めします。

昨年、石狩管内で人のレプトスピラ症が約10件発生しているとの報告がありました。  
感染経路として犬が関与しているかどうかは不明ですが、犬における発症例と人間における発症例の両方が有ると言うことは、動物から人への感染も考えられるということです。

## レプトスピラとは

人を含む動物の伝染性疾患で、一昨年からは届出伝染病に指定されました。

## 感染経路

原因菌が皮膚、粘膜から侵入。  
とくに、眼結膜、腔粘膜、皮膚の擦過傷から入った場合はただちに感染する。  
動物から人への感染方法として、動物の尿が皮膚に触れて感染する事がもっとも考えられる。  
感染動物は数ヶ月から数年にわたり原因菌を排泄しつづける。

## 症状

動物の場合、初期症状がわかりにくく、症状が出たときには既に手遅れのことがある。  
おもに、腎臓、肝臓が冒され、腎不全・肝不全を引き起こし、死に致る。

### 人に感染した場合の症状

無症状のものから重症のものまでである。  
腎不全が起きると致死性的となる。

## 人の一般的な症状

発熱、頭痛、発疹、筋肉痛、倦怠感  
かぜの症状に酷似しているため、発見が遅れて急性腎不全をおこし死亡に至ることがある。

## 動物の症状

初期症状 軽度の衰弱、食欲不振、嘔吐、発熱、軽度の結膜炎  
症状が進行すると、黄疸、下血、嘔吐。  
腎不全・肝不全が進行すると死に致る。

## 予防

### レプトスピラを含んだ混合ワクチン

当院にて診断されたレプトスピラ、清田区で診断されたレプトスピラともに、  
微生物研究所製の8種混合ワクチンに含まれている型のレプトスピラでありました。  
他社のワクチンには今回発生しているレプトスピラのワクチンは含まれておりません。

北海道札幌市手稲区星置2条4丁目7番38号  
アニマルクリニックおかもと  
電話 011-699-2129